

研修課題：測量学の基礎と実務

1. 目的

本研修の最大の成果は、学部1年生専門基礎科目である「測量学」で行われている実習内容を理解し、環境建設技術分野全員が、この科目の教育支援に積極的に参画できるようになることである。そのためには、測量学実習で必要となる基礎知識と、実際に実習で用いている器具を自由自在に操ることができるスキルを身に付ける必要がある。そこで、本研修のコンセプトとしては、難しい応用技術や一般論を極力省き、実習内容に則した基礎的な題材のみを対象として学習するよう企画する。そのため、すでに測量学を学んだ者に対しては、おさらい程度の学習内容となる。

研修導入部では、測量の歴史や具体的な測量のやり方およびその原理を、イラストや写真等を交えながら講義スタイルで学習する。また、簡単な実用例についても紹介する。これにより、実技で行う測量実習の理解を助けるとともに、ハイテク技術が取り入れられ、ブラックボックス化が進んでいる現代測量器具の取り扱い方にも慣れる狙いがある。また実技では、実習で行われているトータルステーションを用いたトラバース測量とオートレベルを用いた水準測量を、野外にて体験してもらう。なお、水準測量については測定精度を競うことも行う。この他、試験室の整備や試験装置の設置等、普段の業務でも応用できる技術である距離測量や平板測量についても体験してもらう。

2. 期日

平成 25 年 8 月 20 日（火）

3. 研修内容

測量学の基礎と実務

測量について（講義）

歩測と距離の計測（実習）

平板測量（デモンストレーション）

トータルステーションを用いた測量と水準測量（実習）

4. 参加者

別紙 参加者名簿